

## 令和元年度 第1回全国健康保険協会静岡支部評議会議事録

開催日時：令和元年7月17日（水） 10：00～

開催場所：全国健康保険協会静岡支部会議室

出席者：【評議員】足立評議員、岡村評議員、新野評議員、藤本評議員、山本評議員  
（五十音順）

- 議 事：1. 平成30年度決算について  
2. 平成30年度静岡支部事業計画の実施結果について  
3. 令和2年度静岡支部保険者機能強化予算について

### ○議事の経過

#### 1. 平成30年度決算について

資料1に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

準備金は年々増加しているようだが、一方で高額薬剤の保険適用も話題となっている。準備金残高の現状について協会けんぽはどのように考えているのか。

（事務局）

準備金残高は、平成31年度末時点で約3兆4,000億円に達することが見込まれております。支部によっては準備金を取り崩して保険料率を引き下げるべきという意見も評議会に出ておりますが、ご指摘の高額薬剤の保険収載も含めた医療費の伸びや経済動向などを踏まえると、今後も安定的な財政運営を行う上で十分な水準とまでは言えないと考えております。ご参考までに、健康保険組合で保有している準備金等は、平成29年度決算で4兆3,000億円となっており、これと比較しても決して多い額とは言えない状況です。

また、保険料率を引き下げると国庫補助率が引き下げられることも懸念されます。

〈評議員〉

P12の準備金残高の状況について、被保険者数の推移は織り込んでいるのか。

(事務局)

加入者数の伸びについては、近年の実績を用いて試算を行っております。p11にある被保険者数の伸びの急激な鈍化も織り込んではおりますが、ごく粗い試算であるをご承知おきください。

〈評議員〉

P10の加入者数の推移について、協会けんぽ加入者数の増加以上に国保加入者数が減少している点の補足をお願いしたい。

(事務局)

グラフには75歳以上の後期高齢者が含まれていないので、主に後期高齢者制度への移行分です。

〈議長〉

平成30年度決算については承認としてよろしいか。

〈評議員〉

異議なし

## 2. 平成30年度静岡支部事業計画の実施結果について

資料2に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

サービス向上の点で、事務担当者の立場から一つお願いしたい。新生児を扶養に入れる際、マイナンバーや戸籍の確認があり保険証の発行まで1か月以上かかっている。

年金機構が窓口であるということは承知しているが、新生児なので病院にかかる機会も多いため、年金機構と連携して何とか改善できないかとお願いしたい。

(事務局)

現時点での対応はできかねますが、協会も年金機構も問題は認識しております。

〈評議員〉

限度額適用認定証の利用促進についてだが、現在導入されている資格確認システムを利用する等して、オンライン申請できるようにはならないか。申請書を記載しないと交付されないというものでは、なかなか利用率も上がってこない。医療機関

窓口での案内にも限界がある。

(事務局)

現行のオンライン資格確認システムは、資格の有無を表示するのみにとどまっております。静岡支部では、窓口申請書を備え付けてもらうよう医療機関と連携し利用率の向上に努めております。

なお、2021年からの運用開始が予定されております。マイナンバーカードを活用した新たなオンライン資格確認においては、自己負担限度額の参照も可能となる方向で調整が進められており、認定証の申請なしに自己負担額の軽減が受けられるようになる見込みです。

〈評議員〉

データヘルス計画についてだが、上位目標である「脳卒中の年齢調整別死亡率を全国平均並みに引き下げる」ことを達成するための実施項目として、特定健診受診率の向上とあるが、現状の健診項目で対応可能なのか。特定健診の健診項目はかなり少ないと承知している。

(事務局)

特定健診では、血圧、血糖、脂質や腹囲、体重等をチェックすることで、メタボリックシンドロームを判定しておりますが、メタボリックシンドロームを改善することで、脳梗塞の発症リスクを軽減できるとされています。

データヘルス計画の上位目標は、目標設定から10年以上経過後に達成すべきものという位置づけであり、先の長い話ではありますが、静岡支部としてとしてはまず健診を受けていただき、結果に応じて特定保健指導や、重症化予防のための受診勧奨に繋げるということを着実に実行して参ります。

〈評議員〉

経営者の立場から、近年の働き方改革推進のテーマとして、生産性の向上ということがあるが、そのためには社員の健康がベースとなる。

社員の健康意識を高めるための方策として社内勉強会の実施が考えられるが、協会けんぽから勉強会で使用できるコンテンツを提供いただけるとありがたい。

(事務局)

協会けんぽ設立後、治療重視であった政府管掌健康保険時代と比べ、予防に力をいれて取り組んで参りました。コンテンツについては、ホームページ、広報誌に加えメールマガジンで健康情報を発信しているのので是非登録をお願いします。

〈評議員〉

職務上国保とも関わりがあるが、国保はデータの提示はあるものの分析面で弱い印象を受ける。市町と連携して地域医療の現場に還元して行ってほしい。

〈議長〉

KPI の導入もあり事業実施結果はシンプルで分かりやすいものとなった。それでは平成 30 年度静岡支部事業計画の実施結果については以上としてよろしいか。

〈評議員〉

異議なし

### 3. 令和 2 年度静岡支部保険者機能強化予算について

資料 3 に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

30 年度に実施した温泉地での宿泊型特定保健指導について実施結果と今後の実施見込はいかがか。

(事務局)

宿泊型保健指導については、特定保健指導対象者 9 名の利用があり、参加者からは非常に好評でした。一方、費用対効果の面で課題があり、31 年度については実施を見送っております。令和 2 年度についても現状計画はしておりません。

なお、事業委託した保健指導機関において宿泊型の保健指導プログラムを継続実施しており、広報面で連携しています。

〈議長〉

メタボ割などアイディアとしては面白いものもあった。費用対効果の面で課題はあったとのことだが、ノウハウは何かしらの形で残ったと思う。今後の事業に活かしてもらいたい。

それでは、令和 2 年度静岡支部保険者機能強化予算については以上としてよろしいか。

〈評議員〉

異議なし